

1. 基本情報

評価対象年度 (29 年度)

施策コード	123		施策名	文化・芸術・スポーツ活動の支援				
将来像	1	安全でうるおいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)						
まちづくりの基本目標	12	生きがいを持って文化的に生活できるまち						
主担当部	教育部		主担当課	生涯学習スポーツ課		主担当係	生涯スポーツ係	
担当者	石川 智裕		役職	教育部長		内線	321	
関係課	障害福祉課	高齢支援課	郷土博物館					

2. 施策の方向

10年後の姿	市民は自分にあつた文化・芸術・スポーツ活動を楽しみながら、健康で心豊かな生活を送っています。また、そのような活動を通して、人と人との交流の広がりや深まりが進んでいます。							
施策の方向性	1	市民文化・芸術の充実と発展をめざします						
	2	誰でも気軽にスポーツ活動に親しめる環境をつくります						

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算
0103010212	ゲートボール場運営管理事業		2	高齢支援課	5,924	1,274	1,269
0110050103	コミュニティプラザ運営管理事業		すべて	生涯学習スポーツ課	170,902	61,975	0
0110050104	文化活動振興事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	4,586	4,396	3,488
0110050106	文化団体育成事業		1	生涯学習スポーツ課	600	600	600
0110050109	清瀬市コミュニティプラザ等管理事業		すべて	生涯学習スポーツ課	104,316	89,664	90,482
0110050110	清瀬けやきホール運営管理事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	72,588	76,428	70,465
0110050701	生涯学習センター運営管理事業	対象	1, 2	生涯学習スポーツ課	45,360	46,413	49,261
0110060103	スポーツ推進委員活動事業		2	生涯学習スポーツ課	1,739	1,735	1,953
0110060104	体育等振興事業	対象	2	生涯学習スポーツ課	1,836	1,542	3,202
0110060105	学校体育施設等開放事業		2	生涯学習スポーツ課	137	42	156
0110060106	スポーツ団体育成事業		2	生涯学習スポーツ課	2,080	2,080	2,050
0110060201	清瀬内山運動公園等管理事業	対象	2	生涯学習スポーツ課	146,863	181,311	85,204
0110050321	特別展事業	対象	1	郷土博物館	899	6,143	1,220
総事業費(施策の合計)					557,830	473,603	309,350

4. まちづくり指標

指標情報				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度	平成37年度
①	名称	この一年で芸術・文化に接したことがある人の割合		目標値	—	—	—	70.0
	説明	単位	%	実績値	—	66.0		
	抽出方法	市政世論調査(平成29、32、35、38年度実施)		達成率	—	—		
②	名称	この一年でスポーツ・レクリエーションに参加したことがある人の割合		目標値	—	—	36.7	39.2
	説明	単位	%	実績値	—	35.2		
	抽出方法	市政世論調査(平成29、32、35、38年度実施)		達成率	—	—		

5. 評価(平成29年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果 〔3. 構成事業の 状況〕〔4. まちづ くり指標〕に対す る評価	総合評価 (成果、投入財源等を 総合的に評価)	維持
<p>構成事業の状況については、文化、芸術、スポーツ活動の充実や発展において、それぞれ目的達成の手段として構成され、「10年後の姿」を達成するために適当事務事業が展開されている。 平成29年度まで成果指標(まちづくり指標)としていたスポーツレクリエーション競技団体、芸術・文化を鑑賞する、または活動を行う団体ともに高齢化等の理由により新規加入団体が増えていないことから、文化・スポーツ等の市民が活動できる場の提供を文化協会や、体育協会、サークル活動団体に働きかけが必要である。</p>		

※順調「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由
市民ニーズ の状況	高齢者や中学生を対象とした市主催の生涯学習講座・スポーツ等参加しやすい事業の実施が求められている。	2. 施策遂行に不利	参加者が高齢者や小・中学生のため、市による事業の受講後に受講者自らによる主体的な活動に繋がりがづらい。
将来人口 の推移	少子高齢化が進行する。	3. 施策の必要性を高める 2. 施策遂行に不利	高齢者の技術等を継承していく機会を創出できる。 対象としたい現役世代の参加が難しい。
他自治体 との比較	サッカー場など近隣市に比べ整備されたスポーツ施設がある	1. 施策遂行に役立つ・有利	整備されたスポーツ施設は利用希望が多く、施設を生かした施策展開に役立つ。
民間企業・NPO ・市民の動向	総合型地域スポーツクラブの活動の充実してきている。	1. 施策遂行に役立つ・有利	総合型地域スポーツクラブの活動内容とともに市の事業にもボランティアとして積極的に参加し、スポーツ振興に寄与している。
その他	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け東京都を中心にスポーツや文化活動が振興する。	1. 施策遂行に役立つ・有利	スポーツ・文化活動を推進するのに有利である。

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める 上での課題	スポーツ施設の計画的な改修工事や維持管理が必要である。		
	関連する 事務事業名	体育施設管理事業		
	現在の取組 状況	平成29年度に下戸テニスコートの人工芝を改修や、内山運動公園近隣の用地を購入した。		
	平成31年度 以降の取組	サッカー場・テニスコートの維持管理及び野球場・体育館を整備する。		
②	施策を進める 上での課題	文化・芸術事業について、市民ニーズに合った事業を実施する必要がある。		
	関連する 事務事業名	文化活動振興事業	文化団体育成事業	
	現在の取組 状況	シニアヨガ、シニアガレッジ等の市民講座を実施している。また、清瀬市文化協会へ補助金を交付し、団体の自主活動の促進と文化活動の振興に寄与している。		
	平成31年度 以降の取組	長期的に実施している市民講座については、マンネリ化をしないために内容を変更する。また、対象者を見直しながら、市民ニーズに合った講座を実施する。		